

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 5 月 31 日現在

機関番号：25403

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2008～2012

課題番号：20720075

研究課題名（和文） 二十世紀アイルランドにおける英語文学とアイルランド語文学の相関関係

研究課題名（英文） The Interrelation between Irish-language Literature and English-language Literature in the 20th Century Ireland

研究代表者 池田 寛子 (IKEDA HIROKO)

広島市立大学・国際学部・准教授

研究者番号：90336917

研究成果の概要（和文）：

本研究の最大の成果は『ヌーラ・ニゴーノル詩集』と『イエイツとアイリッシュ・フォークロア』の出版である。アイルランドで入手した資料を活用し、アイルランド語文学に焦点を当てつつ、英語文学との相関関係の解明に力を入れた。この研究が一貫して明らかにしてきたのは、アイルランド語は少数民族言語ではあるが、英語というグローバル言語による文学と密接にかかわりつつ独自性を持った文学で世界に貢献していることである。

研究成果の概要（英文）：

The publication of the translation of Nuala Ni Dhomhnaill's Irish language poetry and *Yeats and the World of Irish Folklore* is the main achievement of this research project. Paying a special attention to Irish-language literature, this study aimed at the examination of its relation to the English-language literature in the 20th century Ireland. What has been revealed so far is that while Irish is a minority language and it depends on the close connection to the English-language world for its survival, Irish-language literature has made a distinct contribution to the global world.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2009年度	800,000	240,000	1,040,000
2010年度	800,000	240,000	1,040,000
2012年度	800,000	240,000	1,040,000
年度			
総計	3,400,000	1,020,000	4,420,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：英米・英語圏文学

キーワード：アイルランド文学、アイルランド語

1. 研究開始当初の背景

日本におけるアイルランドの英語文学の研究は

長い歴史を有する。アイルランド語文学についても、近年国内で優れた研究成果が発表される

ようになり、松岡利次氏の『ケルトの聖書物語』や『アイルランドの文学精神』などによってアイルランド語文学が有する独自の文体や特質が明らかにされてきた。筆者は、科学研究費基盤研究 C で採択された「アイルランド語で表現された媒体を用いたアイルランド文化の総合的研究」の共同研究者の一人としてアイルランド語文献を読み込み、論文「フィヌーラの声-アイルランドを越える『リアの子どもたちの悲劇』を『今を生きるケルト -アイルランドの言語と文学-』(京都アイルランド語研究会編) 2007 年に掲載した。アイルランドの英語文学を研究する者の間で、アイルランド語文学の重要性は常に意識されてきた。徐々ではあるが、アイルランド語文学そのものを深く読み込む必要があるという認識も高まっている。

2. 研究の目的

現在アイルランドでは主に英語で日常生活が営まれ、数多くの文学作品が英語で生み出されているが、アイルランドの文学と文化の底流には、アイルランド語がある。本研究は、マイナー文学としてのアイルランド語文学と、高い評価を得てきたアイルランドの英語文学の相関関係を追及しつつ、アイルランド語文学の立場から英語文学を照射する可能性を探る試みである。具体的には、アイルランドの歴史や社会の状況と、アイルランド語文学の伝統を踏まえた上で、アイルランドの英語作家たちの作品を新しい角度から読み込んでゆく。特に 20 世紀に焦点を当てるが、アイルランド語文学については、19 世紀から 20 世紀にかけて翻訳されて脚光を浴びることになった古典作品も視野に入れる。

3. 研究の方法

英語とアイルランド語の作品を念入りに読み込む。また、作品が生まれた社会的状況について、アイルランド語に関して出された法律など、言

語・文化的な政策に関わる文献を使って綿密に検証する。英訳のないアイルランド語作品については、アイルランド語詩人や、アイルランド語話者の助言を仰ぎつつ、読解を進める。音声資料を活用する。

4. 研究成果

アイルランドでの資料収集を計画通り図書館やアーカイブで行った。入手した論文、文献を以下の学会発表や論文作成に活用した。一貫してアイルランド語文学に焦点を当てつつ、英語文学との相関関係の解明に力を入れた。

(1) 日本イェイツ協会のワークショップ「星から来た一角獣をめぐって」のパネラーの一人として、イェイツの戯曲『何もないところ』と『星から来た一角獣』を検討し、「秩序転覆の Vision - 戦う一角獣のいる天国」として発表した。

(2) 現代アイルランド女性詩人ヌーラ・ニゴーノルのアイルランド語の詩篇について、北アイルランドの詩人ポール・マルドゥーンの英訳と比較検討し、その成果をまとめ、国際アイルランド文学協会日本支部 (IASIL) の年次大会で英語の口頭発表 “Truth in Every Single Tale: Reading into Nuala Ní Dhomhnaill’s The Fifty Minute Mermaid” を行った。

(3) 訳・著書『ヌーラ・ニゴーノル詩集 — アイルランドの人魚歌』土曜美術社出版販売。2010 年。164 ページの出版。解説と註を付けた訳詩集の出版: 現代アイルランド女性詩人ヌーラ・ニゴーノルの人魚をめぐる 37 の詩篇をアイルランド語から日本語に翻訳する作業を終えた。詩人論として「詩人ニゴーノルとその言語観」、16 世紀以降の英文学で描かれてきた人魚とニゴーノルの人魚との比較に基づく試論「ニゴーノルの人魚 — 知られざる人魚たちの素顔」、連綿と続

く境界感覚の揺れに着目してヨーロッパにおける人魚の歴史をたどった概論「人魚物語再考 — 人との境界のゆくえ」を執筆し、訳詩集『ヌーラ・ニゴール詩集 — アイルランドの人魚歌』の巻末に添えた。

(4) アイルランド語詩人ヌーラ・ニゴールの人魚をめぐる37篇のアイルランド語詩と英語詩人ポール・マルドゥーンによるその英訳を比較検討し、論文 “Toward our own Murúch: Reading Nuala Ní Dhomhnaill’s *The Fifty Minute Mermaid*” にまとめた。

(5) 著書『イエイツとアイリッシュ・フォークロアの世界 — 物語と歴史の交わる場所』池田寛子、彩流社、2011年、397ページを出版した。

(6) 中国四国イギリス・ロマン派学会第34回大会のシンポジウムを企画構成し、パネラーの一人として「アイルランド語文学英訳が伝えること、伝えようこと、伝えようとすること — アイルランド語詩「リアダンとクリシル」を貫く喪失の痛み—」というタイトルで口頭発表した。

(7) 2012年10月7日のイアシル・ジャパン IASIL-JAPAN (国際アイルランド文学学会) のシンポジウム To Irelands, I: Odysseus, Gulliver, Oisín で Translations of the Other World Experiences: Shadows and Images of Irish Language Tradition in W.B. Yeats’s *The Wanderings of Oisín* のタイトルで研究発表を行い、イエイツの作品『オシーンの放浪』におけるアイルランド語の伝統の変容の意味を検証した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計1件)

① IKEDA, Hiroko. “Toward our own Murúch: reading Nuala Ní Dhomhnaill’s *The Fifty Minute Mermaid*”. *Journal of Irish Studies* XXV (2010) pp. 36-47. 査読あり.

[学会発表] (計4件)

① IKEDA, Hiroko. “Truth in Every Single Tale: Reading into Nuala Ní Dhomhnaill’s *The Fifty Minute Mermaid*”. IASIL Japan Conference at Gakusyuin University (於: 学習院大学、東京)2008年10月11日.

② 池田 寛子「秩序転覆のVision – 戦う一角獣のいる天国」日本イエイツ協会第44回大会 (於: 青山学院大学、東京) 2008年9月7日.

③ 池田 寛子「アイルランド語文学英訳が伝えること、伝えようこと、伝えようとすること — アイルランド語詩「リアダンとクリシル」を貫く喪失の痛み—」中国四国イギリス・ロマン派学会第34回大会(於: KKR 広島) 2012年6月2日.

④ IKEDA, Hiroko. Translations of the Other World Experiences: Shadows and Images of Irish Language Tradition in W.B. Yeats’s *The Wanderings of Oisín* (於: 明治大学、東京) 2012年10月7日.

[図書] (計2件)

① 池田 寛子 新・世界現代詩文庫11『ヌーラ・ニゴール詩集』土曜美術社出版販売、2010年3月、161頁.

② 池田 寛子『イエイツとアイリッシュ・フォークロアの世界 — 物語と歴史の交わ

るところ』彩流社. 2011 年. 397 頁.

〔その他〕

①翻訳 池田 寛子「アイルランド起源の『島の』装飾写本」(リチャード・ケリー)『アイルランド・ケルト文化を学ぶ人のために』風呂本武敏編著, 世界思想社(京都) 2009 年 4 月 pp. 29-39.

② 『アイルランド語文法』梨本邦直(責任編集) 訳者 荒木孝子, 池田寛子, 他 7 名 共訳. 研究社(東京) 2008 年 1 月 416 頁.

〔産業財産権〕

○出願状況 (計 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

出願年月日 :

国内外の別 :

○取得状況 (計 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

取得年月日 :

国内外の別 :

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者 池田寛子

(IKEDA HIROKO)

広島市立大学・国際学部・准教授

研究者番号 : 90336917

(2) 研究分担者

()

研究者番号 :

(3) 連携研究者

()

研究者番号 :